

令和6年度第1回国有林モニター現地見学会の開催報告

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けています。

東北森林管理局では、令和6年4月から2年間を任期として管内5県にお住まいの47名の方に国有林モニターにご就任いただき、国有林野事業について理解を深めていただいた上でご意見・ご提案をいただいています。

こうした取組の一環として、令和6年8月27日（火曜日）、青森森林管理署管内の青森市において、令和6年度第1回国有林モニター現地見学会を開催し、29名の方にご参加いただきました。

1. 青森市森林博物館の見学

青森市森林博物館は、明治41年（1908年）に青森大林区署（のちの青森営林局）庁舎として建設されましたが、営林局庁舎が新築される際、青森市が旧庁舎の本館部分を保存し、博物館として転用したものです。

館内では、森林に棲む小動物や森の生態系、木材の加工技術など、幅広く森林に関する展示が行われています。

見学会では、青森市森林博物館の辻村様と須藤様にご解説いただきながら、森林鉄道の歴史や青森ヒバの生態などについて、見学しました。



青森市森林博物館での見学の様子

2. 眺望山自然休養林の散策

眺望山までのバス移動中に、青森森林管理署管内国有林の特徴並びに眺望山自然休養林の概要について説明しました。

眺望山自然休養林は特に景観が美しく、保健休養に適した森林としてレクリエーションの森に選定され、地域の森として親しまれており、秋田スギ、木曽ヒノキと並ぶ日本三大美林の一つである青森ヒバの美林を見ることができます。

見学会では、東口コースを3班に分かれて散策しました。あいにくの雨の中での散策となりましたが、青森ヒバにしかない特性等について青森森林管理署職員が説明しながら、青森ヒバの美林や多種多様な樹木などを見学しました。



眺望山自然休養林での散策の様子